



研究者名※	桑嶋 晋平 KUWAJIMA Shinpei	学位※	博士(教育学)
所属※	人間社会学部 教育学科	職名※	准教授
連絡先	kuwajimas@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	<a href="https://researchmap.jp/s-kuwajima">https://researchmap.jp/s-kuwajima</a>		
研究分野※	教育学		
研究キーワード※	教育哲学、教育思想		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷戦体制下の日本における教育労働運動の構造と機能に関する研究(科学研究費・基盤A・研究分担者・2022-2027)</li> <li>・戦後教育労働運動における教師の聖職者性と労働者性の相克と統一(科学研究費・若手研究・研究代表者・2023-2027)</li> <li>・戦後日本の道德教育における思想・政策・実践の連関(科学研究費・研究活動スタート支援・研究代表者・2021-2022)</li> </ul>		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉名市立玉名中学校学校運営協議会委員(2021年4月-2023年3月)</li> <li>・文部科学省 就職氷河期世代を対象とした教職に関するリカレント教育プログラム事業(九州看護福祉大学・2022年4月-2023年3月)</li> </ul>		
受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回東京大学而立賞(2020年)</li> <li>・第16回教育思想史学会奨励賞(2019年)</li> </ul>		

研究領域	教育哲学・教育思想	(SDGs)	
研究テーマ※	近現代日本の教育と教育学における「まこと」の諸問題		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】</p> <p>この国の倫理的な思考や心性において、「まこと」(誠実や正直)が重要な位置をしめてきたことがしばしば指摘されてきたし、その問題もさまざまに指摘されてきた。他方で、「まこと」はまた、近現代日本の教育と教育学にもすくなく影響をおよぼしてきたとかがえられるが、これまでの研究においてかならずしもあきらかにされてきたわけではない。「まこと」を軸として、近現代日本の教育と教育学の思想と歴史とを描きなおし、今日それがはらんだ問題に対峙するための糸口を見出すことが、本研究の目的である。</p> <p>「まこと」がおよぼした影響はきわめて多岐にわたるとかがえられる。そのため、本研究では、以下にあげるようないくつかの視点から考察をおこなう。(1)戦前・戦中の修身教育における「至誠」概念の考察、(2)戦後日本の道德教育における「誠実」「正直」の位置づけ、(3)道德教育における「本音と建前」をめぐる議論の検討、(4)近現代日本の教師の思考と心性(聖職者性と労働者性の相克)、(5)教科教育における誠実と真正の関連、(6)ポストヒューマン状況における誠実主義・努力主義の変容、(6)京都学派(とりわけ、西田幾多郎、和辻哲郎)における「まこと」の位置づけとその教育学への影響</p> <p>【応用例、研究の展望】</p> <p>以上のような研究内容は、たとえば、道德教育のありよう(とりわけ、教科化以後、思考や判断が強調されるなかで、それが実現される条件とはなにか)、教師のありよう(誠実に、献身的に子どもにむきあうことと、多忙化という問題の相克にいかにかむきあうのか)といったことがらを考察することにつうじている。この研究を遂行することで、教育哲学・教育思想史研究としてのみならず、今日の教育がかかえる問題にたいし、解決の糸口を提示することを目指している。</p>		
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「「まことの倫理」というアポリア」教育思想史学会『近代教育フォーラム』第30号、2021年</li> <li>・「下程勇吉における「まことの倫理」と道德教育」『続・道德教育はいかにあるべきか』ミネルヴァ書房、2022年</li> </ul>		
共同研究・外部機関との連携への期待	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		